

## 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

### 1 目的

地域公共交通確保維持改善事業の事業評価は、地域内フィーダー系統確保維持計画に位置付けられた補助対象事業等について、事業の性質に応じ、事業の実施状況の確認、目標達成状況等の評価を行うことによって、補助対象事業がより効果的・効率的に推進されることを目的とする。

### 2 実施方法

(1) 自己評価（一次評価） ← **今回実施**

毎年度、加西市公共交通活性化協議会が、自ら事業の実施状況の確認、評価を行い、当該評価の結果を、補助金の交付を受けようとする会計年度の1月末までに、神戸運輸監理部に報告するとともに公表する。

(2) 二次評価 **令和7年度は二次評価対象外(隔年実施)**

自己評価（一次評価）等を基に二次評価を行う。

地方運輸局等において、当該評価の客観性・妥当性を担保するため、学識経験者等の有識者等からなる第三者評価委員会を設置し、二次評価案について審議する。地方運輸局等は、その結果を踏まえて評価を実施する。

### 3 自己評価の評価項目

令和6年10月1日から令和7年9月30日までのKASAIねっぴ〜号の運行実績等について、以下の項目を評価する。

- (1) 前回の事業評価結果の反映状況
- (2) 事業実施の適切性
- (3) 地域内フィーダー系統確保維持計画における目標・効果の達成状況
- (4) 事業の今後の改善点

令和8年1月22日

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名: 加西市公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内ライダーシステム確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要 コミュニティバス「KASAI ねっぴ〜号」の運行 6系 ・市街地線①② ・国正線 ・九会線①②③	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況  ・高齢者、運転免許返納者及 び子育て世帯に対する運賃無 料化施策の実施 ・総合時刻表「かさいおでかけ ナビ」の更新・配布 ・公共交通総合HP「NAVIGOか さい」の制作 ・主要バス停、待合所へのデジ タルサイネージの設置 ・小学生を対象としたおえかき バス及び乗り方教室の実施	④事業実施の適切性  事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた	⑤目標・効果達成状況  【利用者数の目標】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街地線①②</td> <td>10,000人</td> <td>&lt; 10,539人</td> </tr> <tr> <td>国正線</td> <td>2,300人</td> <td>&lt; 2,618人</td> </tr> <tr> <td>九会線①②③</td> <td>3,800人</td> <td>&lt; 3,980人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16,100人</td> <td>&lt; 17,137人</td> </tr> </tbody> </table> 【利用者1人当たりの行政補助額の基準値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線</th> <th>基準値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街地線①②</td> <td>2,000円</td> <td>&gt; 1,748円</td> </tr> <tr> <td>国正線</td> <td>2,000円</td> <td>&lt; 2,834円</td> </tr> <tr> <td>九会線①②③</td> <td>2,000円</td> <td>&gt; 1,800円</td> </tr> </tbody> </table> 利用者数の目標値は加西市公共交 通計画の基本理念である「一人ひと りが外出を愉しめるまちをめざして」 に基づき、現在公共交通を利用して ピスを提供する観点から、前年度の 利用者数と同等の数値を目標として いたところ、全路線で目標値を達成 した。  利用者1人当たりの行政補助額の数 値については基準値として設定して いたところ、国正線が基準値を下 回った。ただし、国正線の7:30 東国 正発・14:48 イオンモール発の便に ついては年間乗車人数が平均して3 ~4人で推移しており、同区間を運行 している地域主体型交通である「う にバス」と合わせて地域の移動需要 に配慮することができている。  また、高齢者・免許返納者・子育て 世帯への運賃無料化施策の取り組 みにより、無料化施策導入前は 13,000人前後であった利用者数を、 23,000人前後で維持することができ た。	路線	目標	実績	市街地線①②	10,000人	< 10,539人	国正線	2,300人	< 2,618人	九会線①②③	3,800人	< 3,980人	計	16,100人	< 17,137人	路線	基準値	実績	市街地線①②	2,000円	> 1,748円	国正線	2,000円	< 2,834円	九会線①②③	2,000円	> 1,800円	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)  公共交通総合HP「NAVIGOかさい」と別 サイトで運用しているKASAIねっぴ〜号 接近情報サービス「#らっきゃ」を NAVIGOかさいに統合することで、公共 交通利用者への情報発信の統一を目指 す。  今後も、ねっぴ〜号国正線と地域主体型 交通が連携して、地域の移動困難者の 解消に向けた取組を続けていく予定であ る。また、新病院建設や統合中学校の建 設等、新たな都市計画に則した路線案を 踏まえつつ、交通不便者への対応を検 討していく予定である。  引き続き、市内の公共交通を取り巻く環 境の変化に対応し、適切なコミュニティバ スの路線再編を検討していく予定であ る。  また、基準として設定している利用者一 人当たりの行政補助額の数値について は、昨今の燃料費・人件費の高騰を加味 する前の数値であることから、社会情勢 に即した数値への見直しを行う。
路線	目標	実績																														
市街地線①②	10,000人	< 10,539人																														
国正線	2,300人	< 2,618人																														
九会線①②③	3,800人	< 3,980人																														
計	16,100人	< 17,137人																														
路線	基準値	実績																														
市街地線①②	2,000円	> 1,748円																														
国正線	2,000円	< 2,834円																														
九会線①②③	2,000円	> 1,800円																														

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月22日

協議会名：	加西市公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内ライダーシステム確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>加西市の公共交通は、市のほぼ中央に位置する北条町駅を基点に放射状に広がっており、北条鉄道(南～南東方向)、地域間幹線の路線バス(北西、東、南、西方向)、及びタクシーによる移動手段があります。また、北条町を東西に通じる中国自動車道を利用して、京阪神や津山を結ぶ高速バスも運行されています。これらの交通手段を補完する形で、市内の移動手段としてコミュニティバスも運行していますが、住民の公共交通利用は全体の5%に過ぎず、低水準にとどまっています。一方で、住民の約3割と推計される高齢者(70歳以上)や運転免許を持たない人、世帯に自動車がない人など、自動車を気軽に利用できない方々の日常生活における移動手段の確保が課題となっています。</p> <p>令和5年3月に策定された加西市地域公共交通計画では、基本理念として「皆で協力して創る未来に拓かれた人と人をつなぐ公共交通～一人ひとりが外出を愉しめるまちをめざして～」を掲げ、住民の日常生活における移動手段の確保と地域内の交流促進を目指しています。そのため、計画に基づく施策や事業を実施し、公共交通サービスの向上を図ります。これにより、住民の生活の質を向上させ、地域の活性化を推進することを目指します。</p>

## 加西市公共交通活性化協議会（ネットワーク全体の評価）

### 1. 協議会が目指す地域公共交通の将来像

#### 公共交通の将来像

##### 【地域特性】

（人 口） 昭和 61 年度の 53,056 人をピークに減少し、令和 7 年 9 月末では 41,071 人（前年比-1.24%）になっており高齢化率は 34.2%となっている。

（産 業） 加西市総生産額 2,374 億円（R4）のうち、第二次産業、特に製造業が 49.7%を占めている。市内には 5 か所の産業団地等があり、大規模事業所も立地しているが、従業員 10 人未満の事業所が市全体の約 80%を占め、中小事業所を中心とした「ものづくりのまち」である。

##### 【加西市地域公共交通計画（R5～R9 年度）】

（基本理念）『皆で協力して創る未来に拓かれた人と人をつなぐ公共交通』

～一人ひとりが外出を愉しめるまちをめざして～

（基本方針）・みんなが利用しやすい公共交通網の構築

- ・利便性の高い公共交通結節点の整備
- ・地域のさらなる結びつき強化を図る公共交通の利用促進
- ・市外からの人も愉しみ回遊する公共交通での環境づくり

（計画の目標）

クルマを気軽に利用できないなど公共交通を必要としている人の移動需要に対応するため、市民・交通事業者・行政の三者が連携して計画に示す施策事業を実施することで、「ネットワーク」「ダイヤ・本数」「運賃」「車両」「駅バス停環境」「情報」の 6 要素において利用しやすく、受益と負担のバランスのとれた持続可能な公共交通サービスの構築をめざす。

#### 公共交通ネットワークのイメージ図

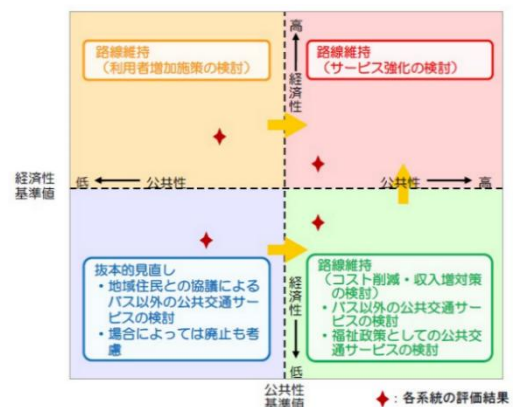
※別添「加西市公共交通マップ」

### 2. 目標設定及びその達成状況の評価に関する事項

#### 【路線評価の基本的考え方と評価基準】

路線の評価は、財政的な側面での評価及び地域住民の移動の手段の確保といった社会的重要度に関する評価の 2 つの指標を用いて路線ごとに行う。

- ①経済性評価：利用者 1 人当たり行政補助額  
基準値 2,000 円/人
- ②公共性評価：沿線世帯当たり年間乗車回数  
基準値 2.0 回/世帯



### 3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

#### (1) 取組経緯

【ねっぴ〜号】（運行事業者：神姫バス株）  
 主に中心市街地内の移動を支えるコミュニティバスとして運行。大規模商業施設や観光地、鉄道駅、高速バス停、病院、市役所等の公共施設を結び、市街地内の回遊性を高めるとともに、郊外にある交通結節点と結ぶことにより中心市街地へ行きやすくする役割を担う。また北条町駅から放射状に伸びる鉄道や幹線バスを補完している。

#### (2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等

**補助対象事業**

地域公共交通確保維持改善事業				
事業	実施主体	着手・実施期間	種別	事業概要
地域内フィーダーシステム補助事業	協議会	R6. 10 ～R7. 9	フ	市街地内の移動と路線バスを補完するねっぴ〜号の運行

【種別】 幹：地域間幹線系統、フ：地域内フィーダー系統、策：計画策定事業、利策：利便増進計画策定事業、利推：利便増進計画推進事業、継策：運送継続計画策定事業、継推：運送継続計画推進事業

その他補助事業			
事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
地域主体型交通運行事業 (加西市地域主体型交通運営費補助金)	地域団体	R2. 10～	交通空白地の解消を目指し、地域団体が主体となり自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）を運行 ・宇仁ふれあいバス R2. 10～運行開始 ・日吉地区乗り合いタクシー R4. 3～運行開始 ・とみバス R5. 7～運行開始
加西市地域公共交通シンポジウム (シンポジウム助成事業)	加西市	R7. 11	地域公共交通に関する地域住民の理解を深めるとともに、意見を聞きとるために行政・運行事業者・市民の3者が参加するシンポジウムを実施。

非補助事業

事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
総合時刻表更新事業	協議会	R7.1 ～R7.3	鉄道、路線バス、コミバス等の統一時刻表を 6,000 部作成。
市内バス無料乗車券配布事業	加西市	H28.11～	高齢者や免許返納者、子育て世帯等を対象に市内で利用できるバス無料乗車券を配布
公共交通総合ホームページ運用事業	協議会	R7.4～	R5.4～制作していた市内公共交通機関の情報を総合的に発信するためのサイトに経路検索機能を追加
若年層への周知事業	協議会	R7.4～	バス車体の左側面を巨大なキャンバスに見立て、沿線の子ども達に自由に絵を描いてもらうことで公共交通に親しみをもってもらうとともに、乗車するきっかけを創出

(3) 生産性向上の視点から取り組んだ事業

※「(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等」のうち、生産性向上を目指して取り組んだ事業について、その内容を記入して下さい。

※上記以外の事業においても、該当する事業・取組等があれば、その内容を記入して下さい。

事業	取組内容	効果目標
市内バス無料乗車券配布事業	高齢者（75 才以上）や運転免許返納者、子育て世帯等を対象に市内で利用できるバスの無料乗車券を配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通の利用障壁解消</li> <li>免許返納の促進</li> </ul>
公共交通総合ホームページ運用事業	市内公共交通情報をデジタルで集約し、リアルタイム発信に加え、経路検索機能を追加することでよりスムーズな移動支援を展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通の利用障壁解消</li> </ul>
コミュニティバス路線・ダイヤの見直し検討事業	公共交通を取り巻く環境の変化に対応し、雇用機会の創出や地域経済の活性化を目的に市内企業への需要把握調査を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>工業団地内の企業・従業員へのアンケート調査</li> <li>主要な公共交通利用企業へのヒアリング調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通への移動の転換、選択肢の提供</li> <li>公共交通の利用障壁解消</li> </ul>

地域主体型交通運行事業	交通空白地の解消を目指し、地域団体が主体となり地域住民の移動手段確保を目的に自家用有償旅客運送を運行	<ul style="list-style-type: none"><li>・移動困難者の減少</li><li>・免許返納の促進</li></ul>
-------------	--	--

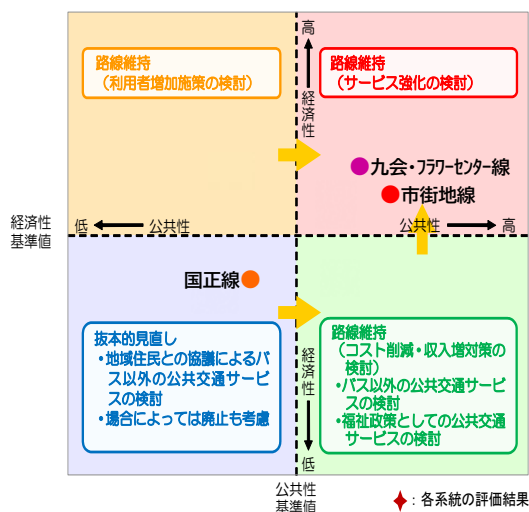
#### 4. 具体的取組に対する評価

【地域内フィーダー系統補助事業の評価】

路線名	経済性評価	公共性評価
KASAI ねっぴ〜号		
市街地線	1,748 円 (1,746)	3.5 回 (3.3)
国正線	2,834 円 (2,557)	0.9 回 (0.9)
九会・フラワーセンター線	1,800 円 (1,709)	2.4 回 (2.4)

※ ( ) 内は前年度評価数値

※ 乗継券・無料乗車券等を運賃収入に換算

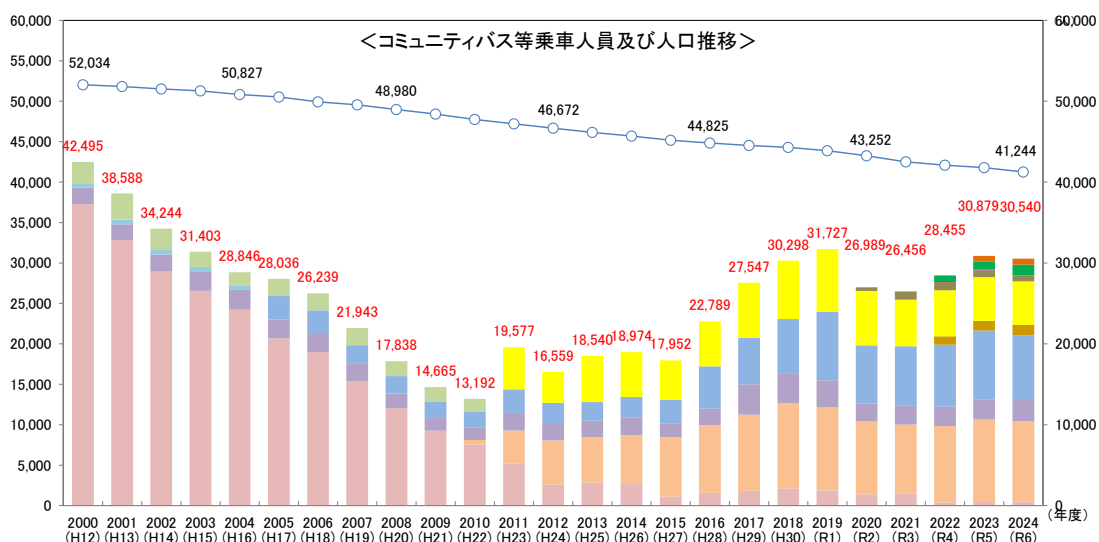


事業評価の結果、利用者数は前年度に比べて 535 人増加した。路線別では、市街地線と九会・フラワーセンター線の利用者数が増加した一方、国正線では減少している。また、市街地線の経済性及び公共性の指標は前年度より向上したものの、その他の路線においては経済性・公共性ともに減少し、国正線においては両指標とも基準を下回った。

なお、これらの基準となる指標に関しては、昨今の人件費の高騰や物価上昇を踏まえ、実態に即した見直しを行う。

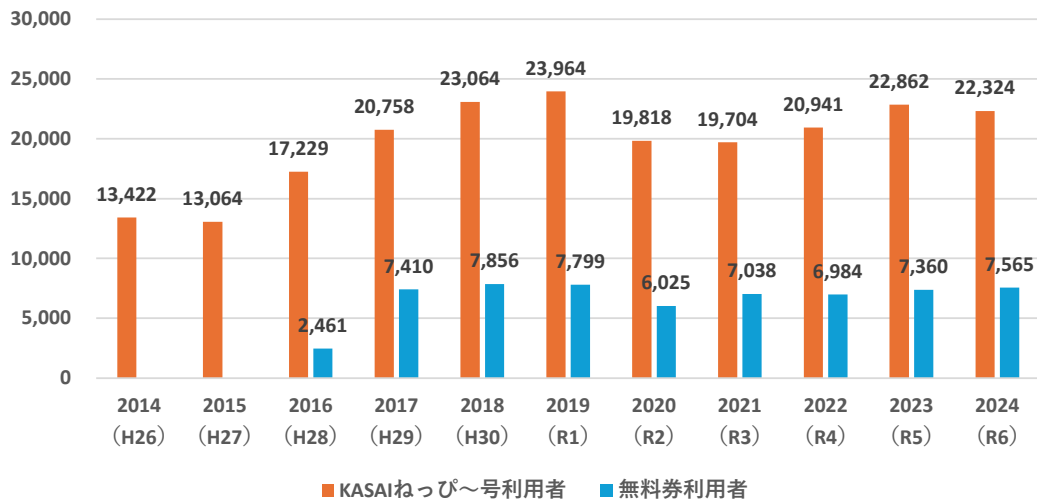
#### <参考資料>

(人/年)



上図は、加西市のコミュニティバス等の乗車人員と市内人口の推移を示している。市内人口が減少する中、平成 23 (2011) 年度のはっぴーバス導入などの施策により乗車人員はU字回復したが、令和 2 (2020) 年度から新型コロナウイルスの影響で一時的に減少することとなった。令和 4 (2024) 年度以降は、再度増加に転じ、コロナ禍前の乗車人員に戻りつつある状況である。

< KASAIねっぴ〜号利用者数における無料券利用者数 >



上図は高齢者や免許返納者・子育て世代向けの市内バス無料乗車券の利用者数と、KASAI ねっぴ〜号の利用者の推移を表している。平成 28 (2016) 年の導入までは 13,000 人前後であった利用者が、導入以降、20,000~22,000 人強に増加している。

新型コロナウイルスの影響下において利用者の減少が見られた際にも、継続した無料券の利用状況が見られ、市内の交通手段としてのコミュニティバスを利用することに寄与していると考えられる。

### 5. 自己評価から得られた課題と対応方針

課 題	課題への対応方針
<p>KASAI ねっぴ〜号の国正線は、経済性・公共性評価がともに基準値を下回っており、利用者増加施策や路線の縮小の検討などが必要である。</p>	<p>国正線の経済性評価が低調化している理由として、市内路線の中で最も走行距離が長いことから運行経費が高額となっていることが挙げられる。しかし、路線の利用実態としては年間を通して通院・買い物需要を満たしており、市内の他路線と比較しても乗客を乗せずに運行した回数は少なく、7:30 東国正発・14:48 イオンモール発の便については年間乗車人数が平均して 3~4 人で推移している。</p> <p>また、同区画を運行する地域主体型交通である「宇仁ふれあいバス」の運行により、KASAI ねっぴ〜号のダイヤ以外の時間帯を補完している。</p> <p>今後、加西市民病院の移転による路線再編時等に、利用状況を踏まえた上でさらに効率的な運行となるよう検討する。</p>

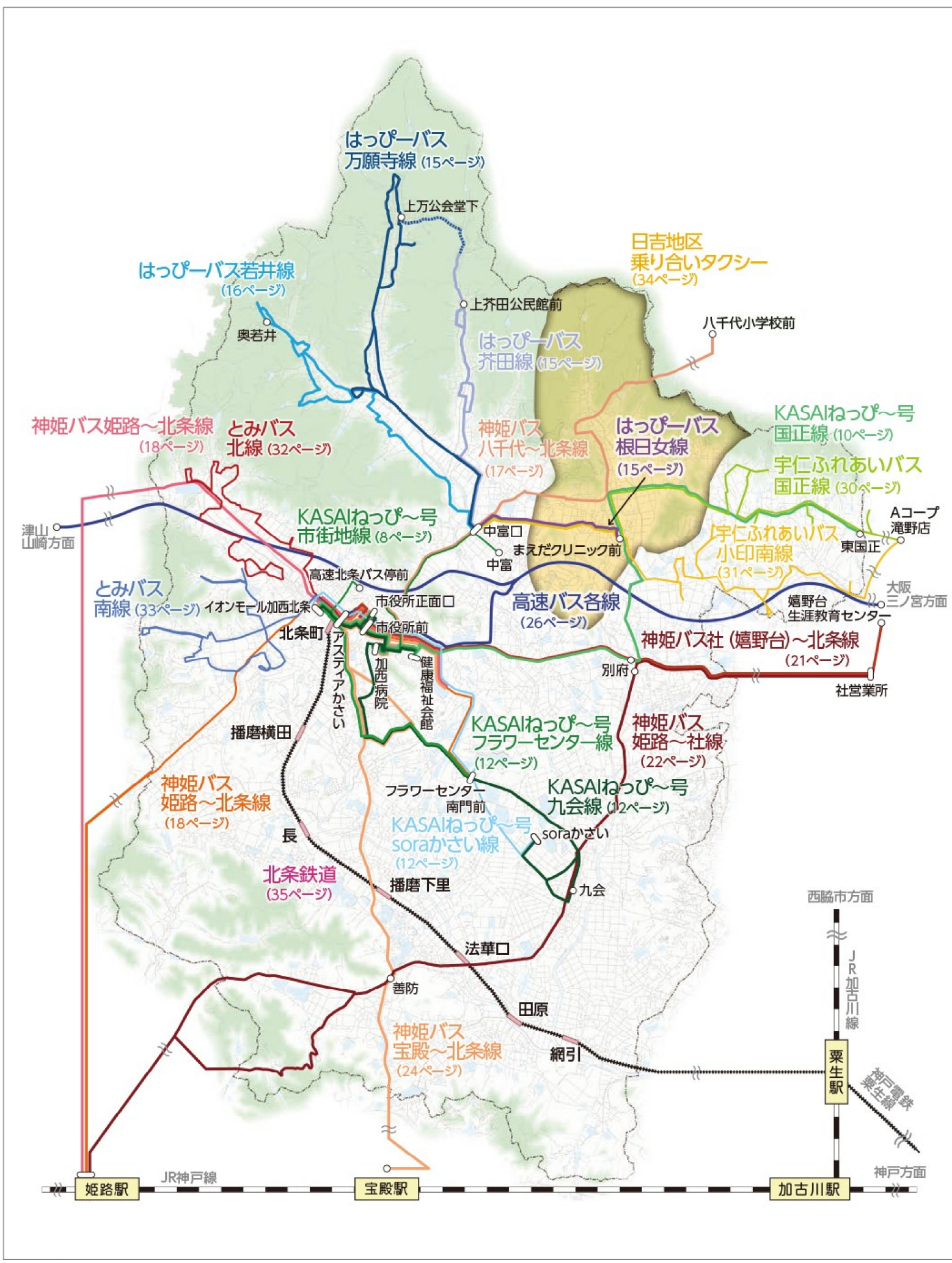
## 加西市公共交通活性化協議会（これまでの経緯）

### 1. 昨年まで（直近）の二次評価の活用・対応状況

昨年まで（直近）の二次評価における事業評価結果	事業評価結果の反映状況（具体的対応内容）	今後の対応方針
<p>適切に事業を実施し、目標・効果が達成されたことは評価できる。</p> <p>今後も、地域特性や実情に応じたバス路線・ダイヤの見直しに取り組むことで持続可能な公共交通が構築されることを期待する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規利用者の開拓については、交通事業者とともに若年層へのバス乗り方教室などを行い、周知活動を積極的に展開する。</li> <li>地域主体型交通については、地域のまちづくり協議会と協議を重ね、導入に向けて積極的にサポートを行う。</li> </ul>	<p>公共交通の利用状況等を引き続き把握するとともに、これまでの成果を活かしてモビリティマネジメントにも力を入れ、利用継続の促進や新規利用者の開拓に努める。</p>

### 2. アピールポイント、特に工夫した点など

- 「地域主体型交通導入の手引き」を策定し、公共交通空白地解消に向けた支援を実施するなど、単に利用者数や収支だけでなく、その根本となる市民の生活の部分から検討を行っている。
- 後期高齢者、免許返納者、子育て世帯等を対象とした無料乗車券を継続して発行した。
- 公共交通が移動の選択肢となるように、より具体的な情報提供を行うため、各交通機関の時刻表を統一し、利用方法などを案内する公共交通総合ガイド「かさいおでかけナビ」を作成し、市内公共施設へ配布・設置した。
- 市内公共交通情報を集約し、デジタルを活用したリアルタイムの交通情報の提供を実現するため公共交通総合ホームページ「NAVIGO かさい」を開設した。
- 「NAVIGO かさい」の継続的な改良を行い、経路検索機能を導入することで市内公共交通の連携を可視化し、公共交通の利用支援及び利用障壁の解消に努めた。
- KASAI ねっぴ〜号の周知事業として市内小学校における車体への描画体験・バスの乗り方教室を実施し、若年のうちから公共交通を身近な移動手段として選択できる土壌の醸成に努めた。
- 公共交通を取り巻く環境の変化に対応し、雇用機会の創出や地域経済の活性化を目的に、コミュニティバス路線・ダイヤの見直しの検討を開始した。
- 市内3地区で運行されている地域主体型交通について、利用対象を地域住民だけでなく各地区への来訪者まで拡大することで、市内への浸透に努めた。
- 協議会等を通じて現状把握を行いながら、関係者間の意思疎通を図りつつ、計画に定めるPDCAを実施している。



# 加西市地域公共交通計画（2023-2027）

Business Report for 2024

## 令和6年度 事業報告

加西市公共交通活性化協議会

### 事業① 地域主体型交通の導入及び維持改善

#### ■ 地域主体型交通利用対象の拡大・利用促進

地域内交通の特性として、各地区をきめ細かく巡回・移動できる手段としての役割を担っていることから、地域住民だけでなく各地区への来訪者の移動需要も見込み、令和6年8月1日より利用対象を拡大し、地域主体型交通の浸透・利用促進を目指した。

また、従来では大人用（200円×11枚）の回数券しか設定されていなかったところを、子供用（100円×11枚）の回数券を設定することにより、若年層の利用促進を目指した。

#### <利用対象>

(旧) 各地区の地域住民及びその親族

↓  
(新) 地域住民及び来訪者

#### <変更後の対価>

(定額制)

- ・大人……200円（高齢者、障がい者の区別なし）
- ・小人……100円（小学生以下）
- ・未就学児…無料  
（回数旅客運賃）
- ・200円券11枚綴り…2,000円
- ・100円券11枚綴り…1,000円 ※新規設定

## 事業① 地域主体型交通の導入及び維持改善

### ■ 富田地区地域主体型交通「とみバス」予備車配備

R5年度に運行を開始した富田地区地域主体型交通について、地域主体型交通として継続的な運行を実施するために、予備車を一台配備した。

配備に当たっては加西市が所有する公用車のうち、買い替えの対象となる車両を貸与する方式とすることで経費削減に努めた。

運行主体：富田まちづくり協議会

運行方式：定時定路線 2 路線（北線・南線）

運行曜日：月・火（8便/日）

利用料：200円/回

車 両：トヨタノア（7人乗り）1台 → トヨタノア（7人乗り）、トヨタプリウス（5人乗り）

運転手：8人

運行開始：R5.7.4～試験運行、9.4～本格運行

利用者数：年間687人（運行日数70日）

1日当たり9.8人



## 事業④ 企業等の連携や社会情勢の変化に対応したバス・鉄道等の利用環境改善 事業⑳ 企業と連携した公共交通利用環境改善の推進

### ■ コミュニティバス路線・ダイヤの見直し

市内産業団地内企業の操業開始に当たり、想定される新たな公共交通利用に対応するためコミュニティバスの再編を検討。R6年度は路線及びダイヤの見直しについての方向性を検討した。

#### ● 見直し案

① ねっぴ～号国正線の短縮による加西工業団地までのバス運行

→ ねっぴ～号国正線利用者へのアンケート調査を実施（R6.12.9～12.13）

加西工業団地へのヒアリング調査実施

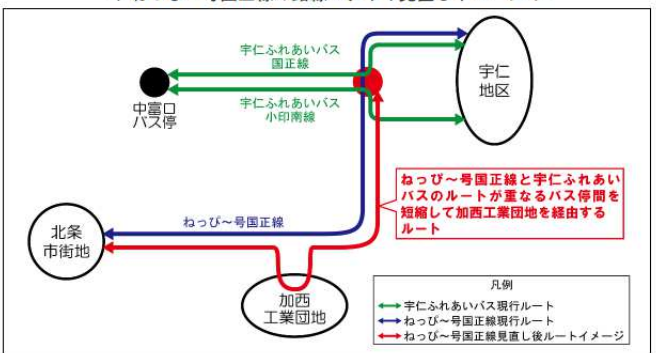
宇仁郷まちづくり協議会との意見交換

高速北条バス停利用者へのヒアリング調査

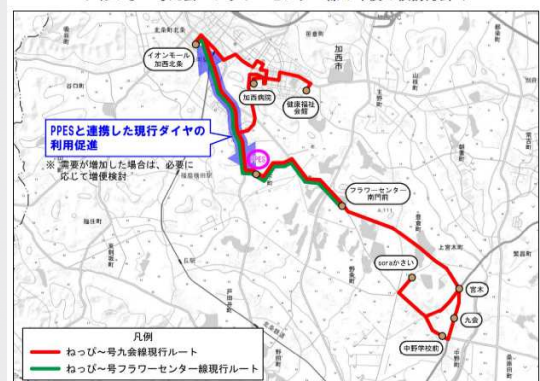
② ねっぴ～号九会・フラワーセンター線への鎮岩工業団地行きバスの増便（朝・夜）

→ 鎮岩工業団地内企業（PPES(株)）へのヒアリング調査を実施

＜ ねっぴ～号国正線の路線・ダイヤ見直しイメージ ＞



＜ ねっぴ～号九会・フラワーセンター線の今後の検討方針 ＞



## 事業⑧ 鉄道輸送力を活用した利便性向上

### ■北条鉄道通勤定期購入特典キャンペーンの実施

北条鉄道の通勤定期利用者の増加と地域商業の活性化を図ることを目的に、通勤定期購入者を対象に地域通貨「ねっぴ〜ポイント」の付与を実施

- 対象購入期間 R6.4.1～R7.3.31 ※R7.3.31受付終了
- キャンペーン内容 (予定)
  - ①新規購入者 定期金額の1/3相当額のポイントを付与 ※最高31,000ポイント
  - ②継続購入者 **6か月定期：10,000ポイント ※新設**  
3か月定期：5,000ポイント
- 付与実績
  - ①新規購入者 17件 (市内11件、市外6件) 前年比13件増
  - ②継続購入者 16件 (市内10件、市外6件) 前年比 5件増

#### ・利用区間

- 1位 北条町駅－粟生駅 (64%)
- 2位 播磨下里－粟生駅 (9%)
- 2位 播磨横田－粟生駅 (9%)
- 2位 北条町駅－網引駅 (9%)
- 5位 田原駅－粟生駅 (3%)
- 5位 網引駅－粟生駅 (3%)
- 5位 北条町駅－法華口 (3%)

#### ・購入期間

- 6か月定期 28件 (85%)
- 3か月定期 5件 (15%)



キャンペーンチラシ

## 事業⑨ 免許返納者や乗継利用者等に対する割引運賃制度の拡充に向けた検討

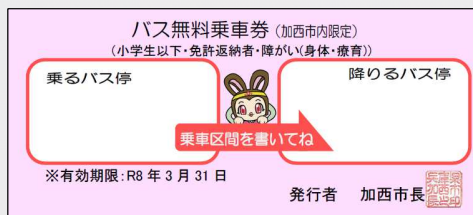
### ■免許返納者へのバス無料乗車券の配布

免許返納者に対して、加西市交通安全協会から「かさいおでかけナビ」とバス無料乗車券（赤券）を配布

- 免許返納者数 (単位：人)

H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
159	193	214	231	224	217	180	188

- 加西市内バス無料乗車券（赤）



#### (利用できる区間)

- コミバス ・ねっぴ〜号の全区間 (市街地線、国正線、九会線、フラワーセンター線、sora かさい線)
- 神姫バス ・八千代北条線の一部 (アステシアかさい～中富口～ニヶ坂)  
・姫路北条線の一部 (フラワーセンター駐車場～北条営業所～神姫レストラン前または西山下)  
・社北条線の一部 (アステシアかさい～青野ヶ原)  
・宝殿北条線の一部 (北条営業所～東高室・播磨農高前～倉谷)  
・姫路社線の一部 (奥猫尾または法華山一乗寺～青野ヶ原)



・10枚綴りで配布

## 事業⑳ 公共交通情報を総合的に発信

### ■ 加西市公共交通ガイド「かさいおでかけナビ」の更新

北条鉄道や路線バス、コミバス等の時刻表や運行経路、乗換案内に加え、市内施設マップなど暮らしの便利情報を掲載した地域公共交通の総合ガイド「かさいおでかけナビ」の更新を実施。

各公共交通機関をマップ化することで、市内外への移動情報をわかりやすく提供し、公共交通の利用促進を図った。

R6に開設した公共交通総合ホームページ「NAVIGOかさい」に情報を集約したことから、R7より全戸配布を取りやめ、市内施設への配布・設置方式とした。

【作成数】

- A4版 (3,000部)
- ポケット版 (3,000部)



ポケット版



A4版

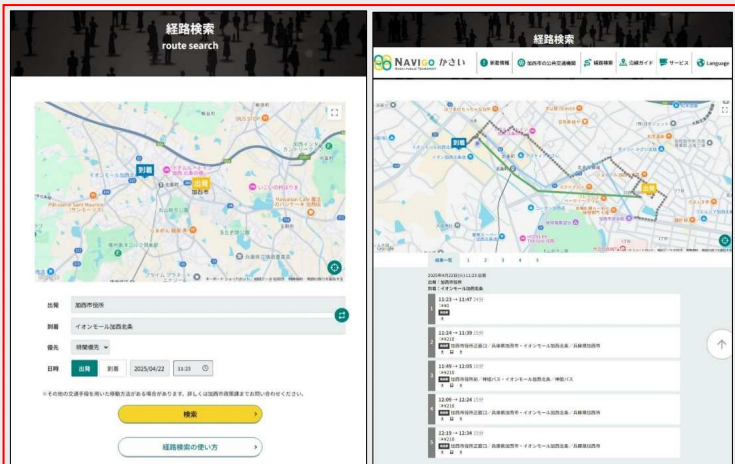
## 事業⑳ 公共交通情報を総合的に発信

## 事業㉔ インバウンド需要に対応した環境整備

### ■ 公共交通総合ホームページ「NAVIGOかさい」の制作

市内の公共交通情報を集約し、市民、来訪者の属性・目的に合わせた情報提供を行うことで、公共交通へのアクセシビリティの向上、来訪者のカスタマージャーニーの最適化を目指して公共交通総合ホームページを制作し、運用を開始した。

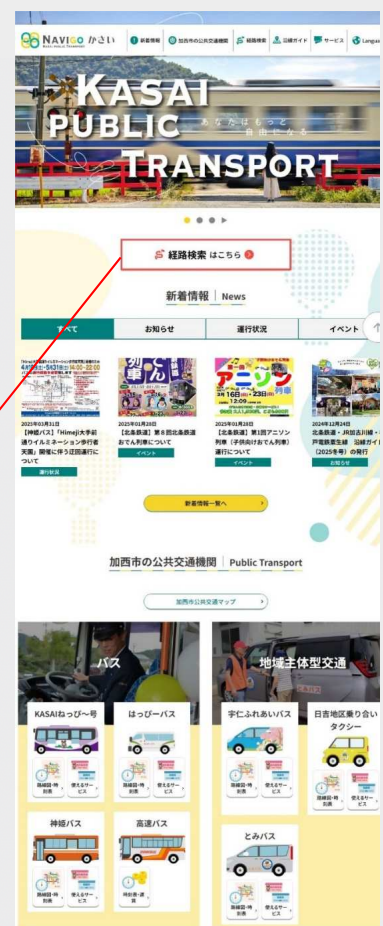
市内公共交通機関の運行経路・時刻表等の基本情報の掲載、運行情報・イベント等の情報周知機能に加え、新たに経路検索機能の実装に向けて検討を開始した。



なっぴ〜号など加西市内の公共交通機関の経路に対応



サイト用QRコード



## 事業②④ 北条鉄道でのICカード導入、定期券ネット販売導入

### ■ICOCAシステムの導入

北条鉄道の利便性向上や利用促進を図るため、ICカードシステムの導入を進めた。

ICカードシステムの導入は、2年計画で実施

- ・R6年度・・・改札機の購入および要件定義 **《済》**
- ・R7年度・・・係員発行機・運用端末の購入と機器設置工事  
ICOCAセンターサーバ改修、ICプログラム設計・検証・試験

項目	R6	R7
地上機器 ・改札機（10組）	機器購入	設置工事
地上機器 ・係員発行機（1台） ・運用端末（1台）	—	機器購入 設置工事
ICOCAサーバ改修	—	改修・試験
システム構築	要件定義	設計・検証・試験
金額	55,000千円	67,000千円
実績	56,134千円	-



## 事業②⑦ 企業と連携した公共交通利用環境改善の推進

### ■北条鉄道北条町駅のホームベンチを更新

老朽化の進んでいた既設ベンチを、JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会の助成事業を活用し、より耐久性・安全性に優れたベンチへと更新した。

<更新前>



<更新後>



## 事業⑳ モビリティ・マネジメント等の実施

### ■ おえかきバスの実施

コミバスKASAIねっぴ〜号の車両左側面を巨大なキャンバスに見立て、子どもたちに自由にイラストを描いてもらい、公共交通を身近なものとして感じてもらうとともに、若年層の利用促進を目指した。令和5年度の第1弾（日吉小学校）・第2弾（北条東小学校）に引き続き、第3弾として北条小学校で実施した。また、神姫バス(株)によるバスの乗り方教室を併せて実施した。

#### 北条小学校PTA主催 6年生卒業イベント

日時：令和7年2月16日（日） 参加者：小学生約40人



## 事業⑳ モビリティ・マネジメント等の実施

### ■ はっぴーバス停留所丸太椅子制作

コミバス はっぴーバスの運行区域内の西在田小学校6年生の15名に体験学習の一環として、NPO法人原始人の会主導の下、乗車体験を実施すると共に停留所に設置する丸太椅子を制作してもらい、若年層の利用促進を目指した。

令和4年度からはっぴーバスの停留所全41か所のうち、令和6年までに15か所の停留所に設置した。今後も各年度5か所のペースでの設置を検討する。



## 事業③ 観光交通の導入・拡充・推進

### ■ 電動キックボード無料体験会

多様な移動手段の確保に向け、電動キックボードの活用の可能性を検討した。

加西市主催 第12回グリーンパークトライアスロンin加西の会場で実施。

日時：令和6年9月29日（日） 延利用者 24名



#### ○参加者アンケート結果

- |             |               |
|-------------|---------------|
| (1) 利用経験    | はじめて乗った (91%) |
| (2) 乗り心地    | とても満足 (70%)   |
| (3) 操作感     | 簡単に感じた (83%)  |
| (4) 今後の利用意向 | 利用したい (87%)   |
- ➔ **どんな場面で使ってみたいか (複数回答可)**
- 1位 レジャー (55%)
  - 2位 気分転換 (45%)
  - 3位 通学・通勤、買い物 (40%)
  - 5位 旅行先、コンビニなどの近場への移動 (30%)

# 加西市地域公共交通計画（2023-2027）

Business Report for 2024

## 令和7年度 事業報告

加西市公共交通活性化協議会

企業等の連携や社会情勢の変化に対応したバス・鉄道等の利用環境改善（Ⅰ-2-④）

① 送迎負担の軽減に向けた取組推進（Ⅰ-2-⑤）

企業と連携した公共交通利用環境改善の推進（Ⅲ-10-⑳）

### ■ コミバスKASAIねっぴ〜号の再編

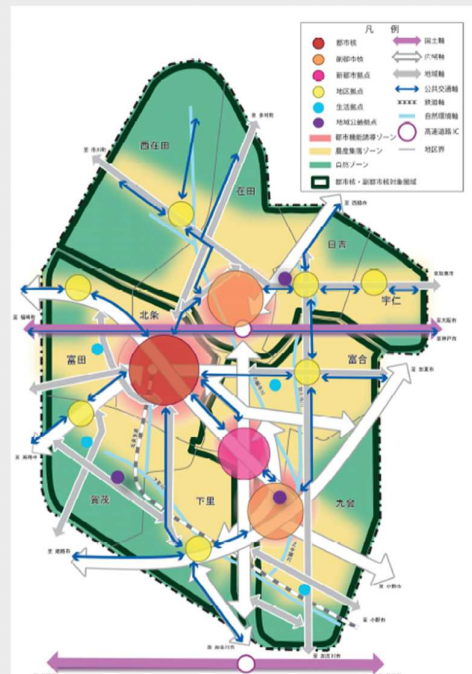
市内工業団地の通勤等、想定される新たな公共交通利用に対応するためコミュニティバスの再編検討を実施した。また、現在の運行状況を時間帯・バス停ごとに分析し、利用実態を再度確認することで、市民の生活に即した生活路線となるように検討を実施した。

#### ● 事業内容

- アンケート調査の実施  
市内産業団地に立地する各企業の利用実態調査  
各企業への個別ヒアリングの実施
- 新路線の検討  
運行事業者とのルート・ダイヤ検討を実施

→産業団地への路線は一旦保留  
更新された都市計画マスタープランに合わせた  
新都市拠点への経路を含めた新たな交通ネットワークの検討を開始した、

（右）加西市版コンパクトプラスネットワークを具現化した将来都市構造図  
加西市都市計画マスタープラン（令和7年3月見直し）より抜粋

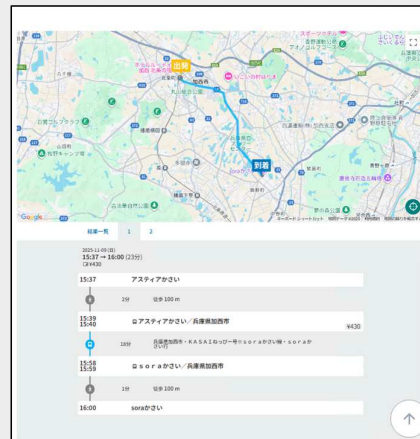


### ③ 公共交通情報を総合的に発信（Ⅲ-9-20） インバウンド需要に対応した環境整備（Ⅳ-13-38）

#### ■ 公共交通総合ホームページの制作

市内の公共交通情報を集約し、市民、来訪者の属性・目的に合わせた情報提供を行うことで、公共交通へのアクセシビリティの向上、来訪者のカスタマーサービスの最適化を目指す。

R6.10のHP完成・公開からR7.4に経路検索機能を実装。  
市内公共交通の連携を手軽に検索可能にした。



### ④ 北条鉄道でのICカード導入、定期券ネット販売導入（Ⅲ-10-24）

#### ■ ICOCAシステムの導入

北条鉄道の利便性向上や利用促進を図るため、令和6年に引き続きICOCAシステムの導入を推移した。

ICシステムの導入は、2年計画で実施

- ・R6年度・・・改札機の購入および要件定義
- ・R7年度・・・係員発行機・運用端末の購入と機器設置工事  
ICOCAセンターサーバ改修、ICプログラム設計・検証・試験

**サービス開始日 R8.4.1**

**発売開始日 R8.3.18**

項目	R6	R7
地上機器 ・改札機（10組）	機器購入	設置工事
地上機器 ・係員発行機（1台） ・運用端末（1台）	—	機器購入 設置工事
ICOCAサーバ改修	—	改修・試験
システム構築	要件定義	設計・検証・試験
金額	55,000千円	67,000千円



## ⑤モビリティ・マネジメント等の実施（Ⅲ-11-29）

### ■おえかきバスの実施

コミバスKASAIねっぴ〜号の車両左側面を巨大なキャンバスに見立て、子どもたちに自由にイラストを描いてもらい、公共交通を身近なものとして感じてもらうとともに、若年層の利用促進を目指す。

また、神姫バス(株)によるバスの乗り方教室を併せて実施

#### R7年度の実施状況（北条東小学校・北条小学校）



作業中の風景



完成したおえかきバス

## ⑥公共交通の必要性を考える場づくりの推進（Ⅲ-11-28）

### ■加西市公共交通シンポジウムの開催

加西市における公共交通の現状について市民に広く認知してもらったうえで、未来に向けた加西市の公共交通のあり方について、利用者・交通事業者・行政とともに考え、ひいては利用促進を図ることを目的に実施した。

会場参加者：55名  
WEB参加者：15名

